

ほんべつ 議会だより

No.77

平成28年5月1日発行



エンジョイ! ほんべつ

3月27日 本別・南三陸ふるさと交流研修会（町体育館）

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1

TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

第1回定例会

本別町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正等を可決

平成28年第1回定例会は3月1日に開会し、一般会計8会計の補正予算、本別町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

条例改正

本別町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正

本年8月から本町独自の子育て支援策として、医療費助成を現行の満15歳到達後最初の年度末から満18歳到達後最初の年度末まで拡大する条例改正に対する質疑

問 改正により、対象者が約170人の増と見込んでいるが、助成額ほどの程度増加するのか。

答 約300万円を想定しています。
※保護者の所得が一定の基準額を越えている場合は、助成制度は受けられません。

一般会計補正

暗きよ排水事業等の減額補正

問 27年度に実施できなかった事業について、次年度以降に行うのか。

答 本別地区と仙美里地区が28年度で完了の予定です。勇足地区は29年度までの計画で事業を行っていく予定です。

アンテナショップ（観光情報センター内・共栄）

問 本別の特産品で置いてないものがあるが、商品を広げる考えは。

答 基本的には、町内企業10社以上、町内

産の品物を90%以上取り扱うようお願いはしています。が、消費期限や仕入先への返品等の関係で置くことができない状況があります。観光情報センターの機能もありますので、町内にお客様を案内するなどの機能と併せ、商品の充実に努めたいと思います。



アンテナショップに並ぶ特産品

雇用創出調査研究事業

問 障がいを持たれていらっしゃる方が、農業分野などで、どのような作業に適用しているか調査する内容だが、具体的には。

答 就労の可能性ということで、主に農産物の生産や加工の過程で、どの作業に適しているか、どのような課題が出てくるか調査研究していきます。

また、将来的なビジネスモデルへの展開に向け課題整理なども行いたいと考えています。

有害鳥獣駆除

問 前年度に比べ、鹿の捕獲数は増えているのか。

答 本年2月で209頭、前年度は105頭です。猟友会の活発な活動や銃器が使用できない場所では、くくり罠の活用で成果が上がったと考えています。

健康診査委託料

問 健診を受ける人数が増えたところがあるが、要因は。

答 保健担当者の日頃からの声かけや広報紙、健康管理センターだよりでの案内など、繰り返し行った結果と捉えています。

平成27年度 各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(2,279万5千円)	・人事院勧告等の人件費の調整 ・寄付金基金積立 ・除雪対策費 (臨時会)
	(1億7,388万7千円) 65億2,232万1千円	・地方創生加速化交付金事業(観光地域づくり連携事業、とちぎ東北部移住促進事業等) ・情報セキュリティ強化対策事業 ・高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金 ・担い手確保・経営強化事業 (定例会)
特別会計	(△426万9千円) 13億8,773万3千円	高額療養費、保険財政協働安定化事業拠出金の額の確定による減 (定例会)
	(△123万1千円) 1億1,786万9千円	後期高齢者医療広域連合納付金の確定による減 (定例会)
別会計	(1,700万2千円) 9億5,701万1千円	介護給付費負担金等の調整、介護サービス給付費の増 (定例会)
	(156万4千円)	介護材料及び備品購入 (臨時会)
計	(△140万1千円) 2億7,020万2千円	執行見込みによる調整 (定例会)
	(△715万1千円) 1億2,674万1千円	道路改良工事延長減による減 (定例会)
水道事業会計	(△624万5千円) 4億9,325万5千円	町債償還利子の確定による減 (定例会)
	(△1,057万6千円) 3億177万8千円	向陽町ポンプ室更新工事確定による減 (定例会)
病院事業会計	(△2,755万3千円) 14億5,062万8千円	器械及び備品購入の事業費確定による減 (定例会)

※第1回臨時会含む

17回目のナイター議会に 30人の傍聴者

3月8日午後6時から役場3階議場でナイター議会が開催され、4議員より4問の一般質問がありました。



傍聴者アンケートから

問 議会・議員への提言 意見はありますか。

- ・質問については、なるべく簡潔にまとめてもらいたい。
- ・概ね、質問に対して伝えたいことがわかるが、町民の意見を反映していることが前提であってほしいと思われる。

第1回臨時会

担い手確保・経営強化支援事業

問

小麦用のコンバイン導入に対する補助内容だが、受益者の負担額は。

答

国のTPP対策で事業費3,780万円のうち、2,030万円が自己負担となります。

第1回臨時会

開催日 2月12日

条例改正

常勤特別職の給与及び旅費に 関する条例の一部改正 議会の議員の議員報酬及び 費用弁償等に関する条例の 一部改正

期末手当

改正前 4. 10月
改正後 4. 20月

人事院の勧告に伴い、職員の勤労手当の改定が行われたことにより、常勤特別職の期末手当も改正する提案がありました。また、同様の内容で、議員の期末手当も改正する議員提案がありました。

2つの議案に対し反対、

賛成の討論がそれぞれありました。主な要旨は次のとおりです。

反対討論 大住議員

町民の皆様への説明不足、また、昨年の介護保険料の改定、来年には消費税率を上げる計画、年金の目減り等を考えたときに、町民の皆様には大きな負担が強いられるので、この改正に反対します。

賛成討論 高橋議員

人事院勧告に伴う改正で、町民から大きな異論を聞いたことはありません。介護保険料、消費税、年金の問題は政治の中で解決していくことが、町民に伝えることだと思えますので、この改正に賛成します。

常勤特別職の期末手当の改正の採決の結果

賛成者8人、反対者3人で可決されました。

議員の期末手当の改正の採決の結果

賛成者9人、反対者2人で可決されました。

一般質問

6人の議員から10問(うちナイター議会で4問)

行政

「ふるさと納税」、さらなる前進を

答 しっかりとつながっていけるように努力していきたい



阿保静夫議員

② さらめきフェスタやつつじ祭り等の機会に、御所宿泊体験の返礼も考えては。
③ 仮称「ふるさと納税感謝祭」の交流企画を、東京本別会などの開催に合わせて催してはどうか。

阿保議員 現在、353件の寄付で、特産品等の返礼品額は約212万円とのこと。
① アスパラ他、人気の農産品の量の確保対策と、今後の充実について伺います。

高橋町長 ① むずかしい課題ですが、生産を拡大した後のフォロー体制等を検討中です。

② 体験型、御所の活用などについては課題も多く、十分に調査検討していきたい。
③ 費用対効果も含め、しっかりとつながっていけるように努力していきたいと考えます。

阿保議員 暑中見舞いを活用し、つながりを強める取り組みは。

高橋町長 暑中見舞い、ふるさと通信等の方法をやっているかと思っております。

消防広域化のスタートにあたって

答 町民の皆さんから要望があれば説明はしていきます



大住啓一議員

大住議員 ① 市街地から離れている自治会の方々や高齢者の方々などにも説明を続けるべきと思いますが、考え方を伺います。
② 広域化がスタートする際、職員の待遇、給料の統一化など、どのようになりますか。

③ 昨年8月の落雷により吹鳴装置が故障しましたが、従前の方法により3月1日から運用を開始しています。

また、本別消防署から2名の職員が広域消防局に派遣されると認識していますが、職員の補充については、さらに、派遣される職員が帯広まで50キロメートルを通勤する内容のようですが、災害の対応時に支障はないのか伺います。
③ サイレン吹鳴の音の現状について伺います。

高橋町長 ① 要望があれば説明はしていきます。



4月から広域化がスタートした本別消防署

本町のふるさと納税寄付件数・寄付金額

年度	件数	金額
H24	13件	1,060,000円
H25	17件	2,883,000円
H26	363件	6,462,517円
H27	353件	4,940,000円

※平成27年度は、本年2月27日までの集計
※平成26年度から、町外の寄付者に対して返礼品の贈呈を行っています。



返礼品の本別産牛肉セット

A V M (車両運用端末装置) とは

消防車や救急車に装備し、車両動態情報や車両位置情報を指令センターに送信する装置です。また、出動指令を受信すると自動的に起動し、出動指令情報を表示するとともに災害地点へのルートナビゲーションが行えます。



消防広域化に伴う119番通報システムは 答 ナビシステムにより対応します



高橋利勝議員

高橋議員 十勝消防局のスタートに向けて、以下3点について伺います。

① 十勝の全市町村の119番の通報受け入れ先が帯広指令センターになり、そこから最も近い消防署に出動命令が出され現場に行くことになりま。改めてシステムについて伺います。

② 出動命令が現場に直近の消防署となる見直し地区と、直近の消防署とのコミュニケーションが必要と思いませんが。

③ スタート後も消防職員や消防団員との話し合いを行うべきだと思いますが。



とがち広域消防局

高橋町長 ① 高機能指令センターのシステムはナビシステム(AVM・車両運用端末装置)により現場にスムーズに出動できることになっていきます。

② 見直し地区の直近の消防署との打ち合わせをしっかりと行います。

③ 消防職員、団員にはこれまで研修会などで説明してきましたが、移行後も必要に応じて対応します。

人口減少対策について 答 まち・ひと・しごと総合戦略の施策として取り組みます

大住議員 平成27年国勢調査の速報値では、本別町は11.3パーセント減と、十勝管内で最も大きい減少率でした。人口減少は大きな問題であり、本別町においてもさまざまな施策が展開されましたが、残念ながら大きな成果があったとは思われません。今後は、大胆な施策の展開が必要であると思います。

提案ですが、今後建設が予定されている特別養護老人ホーム、第1期、2期あわせで定員49人についても、1回立ち止まるのも方法では。また、釧路方面への

高速道路開通を転機として、大きな政策転換など、商工会やJAと協議をすべきと思いませんが。

高橋町長 まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口減少の克服に向け取り組みます。10年後には高齢者が減少していくことや介護保険料の負担、高齢者住宅との併設などを総合的に勘案しました。関係団体等との検討の中で方向性を出します。

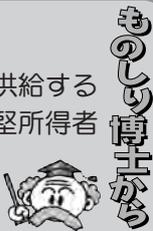
高速道路の開通を転機とし、経済団体を含めて取り組んでいきます。



本別町市街

みなし特定公共賃貸住宅とは

本来、住宅に困窮する低額所得者に対して供給する公営住宅を、公営住宅法の規定に基づき、中堅所得者等の居住の用に供する住宅として指定し供給するものです。



公営、町営住宅の空き室状況と対策について

答 みなし特定公共賃貸住宅制度の運用を図ります



小笠原良美議員

小笠原議員 最近、町内の公営住宅、町営住宅に空き室が多いと思うが、現状と今後の空き室解消対策を伺います。

① 過去1年間の空き室数及び半年以上空き室となつてい
る室数は。

② 入居促進への対策は。

③ 北6、8丁目の空き室公住(2、3階)

への入居促進策として、町が子育て世帯へ入居費助成を行つてはと思
います。

高橋町長

① 1年間で

延べ35戸、うち1、2
カ月で入居したのは14
戸、半年以上の空き室
は12戸、うち10戸が3
DKや3LDKの広い
住宅です。



北8丁目公営住宅の空き室

② 平成26年度から、退居者の了解を得て浴室、ボイラー、湯沸かし器、テレビのアンテナ、カーテンレール等を設置したまま退居いただき、それを活用させて頂いています。

③ 平等性の観点から今は難しいと考えます。所得の高い世帯、中間所得者層へ所得の上限が設定されていない、**みなし特定公共賃貸住宅**としての運用を考えていきます。



福祉

発達支援センター強化について

答 重層的で継続的なサポート体制を目指します



藤田直美議員

藤田議員 全国的に、知的、発達に遅れはないが、学習面や行動面で著しい困難を示す発達障害と思われる児童生徒が全体の6.5%で、年々増加傾向にある事から、子供の育ちに関する相談窓口を一本化し、福祉と教育が一体となつて支援する体制整備をするべきと思います。

① 子ども未来課、健康管理センター、教育委員会、ケアセンターと部局が点在して

て分かりにくいため、発達や学校の生活について相談できる総合的な窓口を発達支援センター内に設置する考えは。

② 療育相談や支援、いじめや不登校に対応するために専

門職を配置する考えは。

高橋町長

① 発達支援センター機能強化のワーキング部会(子ども未来課、健康管理センター、ケアセンター)を設置して協議を進めています。関係部局が連携して機能の充実に努めています。

② 心理判定が可能な専門職員を配置し、ワーキング部会に、新たに教育委員会の担当職員を加え、子育て支援部会と教育部会が連携し、重層的で継続的なサポート体制を目指します。



ことばの教室・発達支援センター(中央小内)

農業

TPPから町民の暮らしを守るには

【答】情報を把握し対応します

高橋議員 ①TPPは私達の反対の声が届かず、3月8日に関連法案が国会に提案されます。TPPから町民の暮らしを守るためには情報の把握が必要だと思いますが、今後どのように取り組んでいくか。

②消費者から見て農業は安全な食料を提供してくれる大切な産業だと思います。そのためには自給率の向上や地産地消を基本として農業の振興や安全な農畜産物づくりを進めるべきだと思いますがどのように考えるか。

高橋町長 ①TPPから町民の暮らし、地域を守るためには、情報をしっかりと開示していただいで、ともに地域づくりができるよう対応していきます。

②TPPを議論する時に、自給率の向上、農家全体のすそ野を広げ、安心安全の食料を提供した上で輸出を考えるべきです。また、食の安全については、これまでの規制が解除される懸念があることから、情報を開示して国民が選択できるようにするべきと考えています。



ビートの苗づくり

TPP大筋合意による農業への対応は

【答】必要な政策をしっかりと要望しながら最大限努力します



篠原義彦議員

篠原議員 本町農業を守るために、どのような対策を講じるのか、次の2点について伺います。

①大筋合意による本町農業への影響は。
②影響を最小限にとどめる

ためには、基盤整備など計画的に実施され、足腰の強い農業にしなければいけないと思いますが。

高橋町長 ①本町への影響額は、平成25年度のJA取扱高101億円で試算しますと、約5.7パーセントの減、約5億8,500万円の減少ですが、この影響ではすまないと思います。

②基盤整備については、畑総事業を取り組んでいます。これからも続けなければなりませんし、平成30年度からの新しい事業に向けて現在、聞き取り調査をしながら計画を立てていくところです。また、農道の整備も本町総合計画の中で計画的に進めます。さらに、将来農業に希望を持って情報交換しながら、本町の農業が活性化できればと思っています。



TPP運動のバッジ

農業振興について

答 農協など関係機関を含めて支援します

大住議員 本町の基幹産業である農業は、取り巻く状況が厳しい中、昨年の生産額が128億円に達しました。

本町発展のためにも生産者の方々が安心して営農できる確かな施策が必要だと思います。2点について伺います。

①ビートの作付面積の増加が必要であるのと、生乳生産が4万トン弱の状況です。近年の農家戸数、酪農家数が激減していますが、歯止めをかけることをJA本別町などと協力し充実した施策を展開すべきと思いますが考え方は。

②これからの農業は、雇用を生み出す大きな要素を持った産業であることから、基金を利用し町と農協が出資した6次化の考えは。



JA本別町

高橋町長 ①ビートの集荷時の堆積場の確保、コントラやTMRなどの体制づくりを含め、ビートの作付、乳量の確保など役割分担しながら取り組みます。

②生産、加工、販売など農業者が全て行うのは難しいことから、6次化に向け研修会等を行いながら、人も心もお金も循環できるように、農協など関係機関を含めて支援してまいります。



教育

本別高校支援の在り方は

答 町民集会、応援組織づくりを進めます

阿保議員 今回の入学希望者が31人、0.4倍との状況に危機感を感じています。

①「文武両道、郡部の進学校」という分野での支援について見解を伺います。

②管内各自治体の取り組みで参考にすべき例はないか。

③町民の皆さんの大きな支援の輪を広げることが喫緊の課題だと考えますが。

②参考にすべきものはすでに取り入れていきますし、引き続き情報収集しながら、本町独自の新たな支援策も含め実施していきます。

③早い時期に町民集会を開きたい。また、本別高校応援隊というようなものを組織したいと考えています。

中野教育長 ①郡部の進学校としての位置づけのもと、学力向上のための各種支援策を講じてきました。また、本別高校の教育を考える会において、今後、アンケートを実施して生徒、保護者、高校の意向を反映しながら支援を継続していきます。



北海道立本別高等学校

一般会計予算は67億6,951万円(前年度比8.5%の増)

平成28年度各会計予算審査特別委員会(高橋利勝委員長ほか10人)は、3月16日、17日に行われ、一般会計ほか6特別会計、2企業会計の予算案を原案のとおり可決しました。新年度の予算編成に当たっては、総合計画に掲げた主要課題である「新たな仕事づくりの創造」、「少子高齢化過疎対策」、「高速道路網、高速通信網の活用」、「環境型社会」、「地産地消」などを基軸とし、人口減対策として本別町人口ビジョン総合戦略を推進し、町民が安全、安心のできる生活基盤の向上を図り、将来の財政基盤の安定に配慮をした予算としており、全会計をあわせて予算総額は118億6,024万6千円で、対前年度比4.1%の増となっています。主な質疑内容は次のとおりです。

一般会計

ミッチェル訪問

問 ミッチェル訪問について。

答 友好を結んで25周年を迎えます。町の代表として3人分の旅費を計上しており、中学生の訪問団とあわせて行きたいと考えています。

町有林造林事業

問 昨年は苗木不足でしたが、新年度の状況は。



町民植樹祭予定地(美里別西上)

答

28年度からは苗木の確保ができるというところで、今後の植栽については計画どおり進んでいくと考えています。

生活維持路線運行

問 浦幌線バスの利用者の見込みは。

答 通学生は30人を見込んでいます。また、若干ですが、一般客の利用が伸びています。

防災対策

問 防災用消耗品、約32万の内容は。

答 5年に1回の防災総合訓練用の資機材、また、備蓄品のアルファ米300食、飲料水(2ℓ)

150本、乾電池等です。



災害用備蓄品(美里別地区公民館)

社会福祉事業

問 肢体・言語・情緒障害児通園助成事業の内容は。

答 (町外施設への)通所に係わる交通費、1回3,000円、3回分を予算化していますが、実際にかかった交通費分が給付されます。

敬老祝金

問 商品券の使い忘れが多ければ、祝金を現金のみにする考えはないか。

答 商品券の使い忘れについては、同報無線や広報紙で呼びかけています。使い忘れの声が多数出てきた場合、検討も必要と思いますが、地域の活性化も兼ねて商品券に切り替えた経緯がありますので、当面は現状のまま進めます。

民生委員児童委員

問 民生委員児童委員の担い手確保が難しいと聞けが、選考はどのように行うのか。

答 本町は定数を満たしている状況でして、6月上旬に推薦会を開催する予定です。現在、委員の皆さんの意向調査を行っており、調査後には各自治会にお願いをする予定です。

除雪サービス事業

問 除雪サービス事業の内容は。

答 町の除雪基準と同様に10cm以上の積雪時に行います。しかし、車椅子を利用されている方などの場合は、状況を見て対応していません。除雪は、玄関から道路までの通路を確保する範囲で進めています。

資源集団回収

問 資源集団回収、63万6千円の内容は。

答 76自治会、団体への奨励金としてキロ6円及び定額の4千円、また、回収事業者への協力金の予算を計上しています。

害虫駆除用備品

問 ハチ防護服を2着購入とのことだが、貸し出しなどの考え方は。

答 敷地内での駆除は、所有者で行ってもらいます。ただ、高齢世帯や障がいのある方で、どうしてもできないという方については、職員が対応をしています。



ハチ駆除用防護服

環境保全型農業直接支払事業

問 27年度よりも88万8千円増えているが、状況は。

答 27年度は17戸が緑肥、1戸が有機農業で予算計上しています。28年度は緑肥で29戸、有機農業で1戸が事業に取り組み予定です。

鹿駆除対策

問 エゾシカ残滓回収ボックスの実績と熊が寄り付く心配は。

答 45頭を回収し、運搬は6回、総重量で1,920キログラムです。熊の出没を考え、春から秋はボックスを撤去し、近隣の方の迷惑にならないような期間設定を考えています。



エゾシカ

学校臨時講師

問 学校臨時講師の賃金、260万4千円

の内容は。

答 1クラス40人を1人の担任が持つようになり、補助的に臨時講師1人を中央小学校に配置します。1日4時間、週5日勤務、年間42週分を計上しています。

本別高校の教育を考える会

問 ①考える会に1,903万8千円の補助金を計上しているが、どのような事業が展開されているのか。

②本別高校への入学予定者のうち、町内からはどのくらい入学されるのか。

答 ①オープンキャンパス参加費、補助教材の提供、模擬試験受験料の補助、遠距離通学費の全額支援、部活動助成、制服購入費などが行われています。
②町内卒業生55人のうち21人、町外からは10人です。厳しい状況ですが、いろいろ

な事業を展開しながら本別高校に目を向けていた、できるだけ努力していきます。



学習サポートの様子

勇足小学校大規模改修工事実施設計委託

問 ①新年度は工事実施設計の委託だが、改修の内容は。
②大規模改修することへの地域からの意見は。

答 ①校舎内の給排水管の総取り替え、体育館の屋根の全改修など予定しています。29年度に改修を行う予定ですが、総額で2億円程度と考えていま

す。

②一定の児童が入学されると想定しており、地域にも理解をしていただいていると思います。学校、地域、保護者等と協議をしながら進めたいと考えています。



大規模改修が計画される勇足小学校

小学校教育振興事業

問 町内小学校にパソコン70台を購入とあるが、どのような授業を行うのか。

答 各小学校により異なりますが、主に3年生から総合学習などの中で

利用しています。授業時数などは各小学校に委ねています。

学校給食事業

問 ①本別産の利用状況などは。

②賄材料費、3,595万6千円のうち、町内業者を通じて納入される割合は。

答 ①各農家からじゃがいも、大根、たまねぎなどを年間約200万円購入しています。

②27年度決算見込みですが、29.3%、約1,021万円です。

図書館事業

問 図書購入はどのような選定方法を用いているのか。

答 それぞれの世代に必要な資料、学校教育や郷土資料などを選定しています。また、話題性のある本の状況を把握し、新刊を中心にできる限り利用

者の声を踏まえて選定しています。



親子で楽しむ「どうわかん」

総括質疑

問 自治体で働く臨時職員や準職員等が30%ほどに上り、その8割が年収200万円以下のデータがあります。そこで、本町の賃金が支給される総職員数と臨時職員等の割合はどのくらいか伺います。

また、臨時職員等の待遇改善の取り組みについては。

答 正職員が235人、臨時職員等は151人で39.1%を占めています。

準職員の待遇改善は、21年度から扶養手当、期末勤労手当の支給率などを正職員に準じた形にしています。また、臨時職員は、忌引き休暇等の特別休暇の追加、24、27年度に賃金の単価改定を行っています。

介護サービス事業特別会計

ほんべつ福祉セミナー

問 ほんべつ福祉セミナーの内容は。

答 道内の介護福祉士養成校や短大の生徒に来ていただき、本別の町や施設等を知ってもらい、就職を考えるとときの参考にしていただくことを目的としています。本別町出身の生徒に優先的に声をかけたかと考えています。

議会用語の解説

《政務活動費》

地方議会の議員に政策調査・研究等の活動のために支給される費用で、以前は政務調査費の名称でしたが、平成24年の地方自治法改正により改称されました。

政務活動費の交付については、地方議会やその議員の活動がより重要となったことから、各自自治体で導入が進んでいます。※本別町議会では導入していません。

政務活動費の詳細は、各自自治体の条例により定められており、議会の会派又は議員に対して支給されます。交付額や交付方法は、自治体により異なりますが、共通している正当な支出は議員活動の範囲に関係する書籍等の購入費用、先進地視察の諸費用などで、議員活動には関係のない支出は法令違反となります。

意見書

第1回定例会では2件の意見書が提出され、1件が可決、1件は否決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。

TPP協定の国会批准をしないことを求める意見書

協定書などを精査する時間もないまま批准を求めるとは、あまりにも拙速。また、重要農産品5品目全て、関税引き下げの大幅譲歩を行っている。さらに、医療などを守る規制や制度に対して、規制緩和と要求ができる仕組みになっている。このような問題が多いTPP協定の批准は行わないよう強く求めます。

提出者 阿保 静夫



反対討論 山西議員

政府はTPP対策に十勝が要求していた内容を大綱に概ね盛り込んでいます。TPPは合意したが、前向きな農協、生産者も増えているため、この時期に国会批准をしないことを求め

ることは、本別、十勝の農業のためになると思いません。

賛成討論 高橋議員

対策を打つのは協定に問題があるから。対策事業は今日まで農業者が求めてきたものであります。批准をすることは、我が国の農業にとって、さらに厳しい状況に追い込まれると受け止めています。

採決の結果 賛成者5人、反対者6人で否決しました。

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書

脳しんとう及び軽度外傷性脳損傷への対応について①教育機関での周知徹底と対策。②専門医による診断と適切な検査の実施。③周知、啓発、予防措置の推進と相談窓口の設置。④学校内等で発生した重大事故の繰り返し防止等を求めます。

提出者 高橋 利勝



行政報告

第1回定例会において、町長から行政報告がございました。(抜粋)

第1回定例会

第6次本別町総合計画後期計画

策定は、前期計画の事業実績や進捗状況の総括から、今後の課題を整理し、地方創生の流れ、また社会経済情勢の動向を踏まえ、「本別町総合計画策定審議会」への諮問、答申をいただき、計画づくりを進めてきています。

町民ニーズの把握に努めながら施策事業の展開を図り、町民の皆様と計画推進について努めます。

本別町居住支援協議会

低所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等、住宅の確保に配慮を要する方々に民間賃貸住宅入居の促進を図るため、地方公共団体、不動産関係団体、居住

支援団体等が連携し、住宅情報の提供などの支援を行う目的で設立しました。

今後は、あんしんサポートセンター(社協)と町内不動産業者等の連携による相談体制の整備等の新たなサービス創設などを進め、「住宅」と「福祉」に関する団体のネットワーク化及び連携による地域包括システムの向上に努めます。

高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給

平成28年度中に65歳以上になる方が対象となり、対象者1人につき30,000円を支給するものです。(ただし、27年度町民税課税者、課税者の扶養親族等は対象にはなりません)

申請受付は、総合ケアセンター内保健福祉課、子ども未来課、役場勇足・仙美里両出張所で行い、申請期間は、4月15日から7月15日までを予定しています。

「高齢者向け給付金」のご案内 4/15 実行開始

申請要領

支給対象者

支給額

問い合わせ先

保健福祉課社会福祉担当(総合ケアセンター内) 電話:0156(22)9236

常勤医師確保及び退職

新任医師は、草野学(くさのまなぶ)医師で、専門である消化器及び内科一般を幅広く診ることができ、経験豊富な医師であります。町民の、かかりつけ医としてご活躍を期待しています。



新任の草野学医師

次に、迫口太朗医師から3月末で退職の申し出があり、慰留に努めましたが、やむなく受理したところであります。

今後の内科及び外科の診療体制は、引き続き外科の水曜日午後外来及び外科・内科の金曜日午後外来を休診とし、患者様には、ご不便をおかけしますが、御理解をお願いします。

委員公しポート

総務 常任委員会

調査日／平成28年2月2日

○国民健康保険の主な内容

・国保税の限度額は85万円です。納付期限は、普通徴収（納付書、口座振替）の場合は7、8、9、10、11、12月で特別徴収（年金天引き）の場合は4、6、8、10、12、2月の6期に分かれています。

・国保税は、低所得の場合は平等割額や均等割額が7、5、2割の軽減があります。
・70歳未満の人は、高額療養費の支援制度があり、同一月内で一医療機関に支払った自己負担額が、自己負担限度額を超えた場合、申請によりその超えた額が払い戻されます。

・国保加入者が出産した時は、出産育児一時金が支給されます。妊娠4カ月（85日）以降であれば、死産や流産でも42万円が支給され

ます。また、国保加入者が亡くなった時は、申請により葬祭を行った人に葬祭費1万円が支給されます。

まとめ

本町において、国保の未加入者はないという説明でした。今後も町民の皆さんが安心して健康な生活を送れるよう望みます。

○国民健康保険制度の広域化

国民健康保険は現在、市町村が個別経営をしています。平成30年度から道が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保などを図るため広域化が進められています。

まとめ

広域化により、将来的な保険料負担の平準化を進める制度ですが、詳細は決まっています。平成25年度の本町の国保加入者一人当た

りの国保税は全道上位から37番目の約11万4千円です。制度の実施にあたっては、制度の趣旨など町民の皆さんへの細かな説明が必要だと思います。



国民健康保険窓口

産業厚生 常任委員会

調査日／平成28年1月28日

○ことばの教室（発達支援センター）の指導内容と今後の事業計画について

1. 発達障害とは
発達障害は、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳機能の発達に関係しています。発達障害の人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子供のうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして、発達障害に対する私たち一人一人の理解が必要です。
2. 現在の指導体制
指導職員…保育士2人で幼児から中学生の計28人に対応しています。
3. 発達支援センター強化に向けたあり方（案）
発達支援センター強化検討に向けたワーキング部会（子ども未来課、発達支援センター、総合ケアセンター、健康管理センターの担当職員で組織）の中で、障がい児の地域における療育体制の確立を図るため、次の点について検討が行われています。

- ①療育支援の強化
- ②療育個別給付化（事業化）への移行
- ③療育支援環境の整備
- ④ネットワークの構築

まとめ

本町においても多様化し増え続ける療育ニーズに対応するため、療育体制の確立が求められています。
早期療育につながるよう専門的な知識や技術を持つ職員を配置し、相談、訓練や療育まで総合的、継続的支援が必要と考えます。



ことばの教室で所管事務調査

議会日誌

〔 2 月 〕



- 1日 議会運営委員会
- 2日 総務常任委員会所管事務調査
- 9日 議会運営委員会
- 12日 議員協議会、第1回臨時会、総務常任委員会
- 18日 池北三町議会情報交換会（足寄町）
- 19日 十勝議長会定例会（帯広市）
- 24日 議員協議会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 一部事務組合議会定例会（帯広市）
- 29日 議員協議会

〔 3 月 〕



- 1日 第1回定例会開会、議員会役員会
- 4日 議会運営委員会
- 8日 本会議（一般質問）、議員協議会、ナイター議会
- 9日 本会議（議案審議、予算提案）
- 10日 議員協議会、広報広聴常任委員会
- 14日 予算審査事前勉強会
- 16日 各会計予算審査特別委員会
- 17日 各会計予算審査特別委員会、議会運営委員会
- 22日 本会議（議案審議）、議会運営委員会
- 24日 池北三町行政事務組合議会定例会（足寄町）
- 29日 広報広聴常任委員会

〔 4 月 〕



- 4日 議会運営委員会、議員協議会、議員会役員会
- 11日 広報広聴常任委員会
- 18日 広報広聴常任委員会
- 19日 十勝議長会定例会（帯広市）
- 20日 町民懇談会、議員協議会
（北地区交流センター、新町集会場）
- 21日 町民懇談会
（本別生活館、美里別地区公民館）
- 22日 町民懇談会
（勇足地区公民館、仙美里地区公民館）
- 25日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 26日 総務常任委員会所管事務調査
- 28日 第2回臨時会、議会運営委員会

ユートiful



多くの町民が傍聴
できるよう工夫しては



山根 栄吉さん（美里別西上）

今回は、長年営んできた酪農業を昨年でお止めになった、美里別西上にお住まいの山根栄吉さんにお話を伺いました。

議会の傍聴は初めてで、新聞のチラシで、農業の振興やT P Pに関する一般質問があるのを知って傍聴に來られました。

傍聴した感想については、町側も議員も緊張感を持って質問、答弁をされており、また、再質問もあることで、わかりやすく良かったとのこと。T P Pの関係については、「本別には農業

以外にもいろいろな産業があるので、それぞれどのような影響があるのか、情報が不足しているように思うので知らせてほしい。」また、「他の議員の質問も私達の生活に関わることなので、多くの町民が傍聴できるように工夫されては。」との感想をいただきました。

議会、たよりは毎回読んでいただいております。「議会用語解説」は、わかりやすく解説されているので非常に参考になるとのこと。

これからの『まちづくり』に対しては、「空き家対策

は市街地だけでなく、本別町全体の取り組みとして強化してやってほしい。」また、「町内の施設に入りたくても入れない高齢者がいるので、住み慣れた町内の施設に入れるようにしてもいい、病院の近くに施設があれば、家族の負担軽減になると自分の母親を介護している感じている。」と話していただきました。

ご趣味は、奥様と一緒に観る映画館での鑑賞とのこと。

**6月定例会は
7日から予定しています**

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

